

区政Now！(平成28年8月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区



このたび、タブレットパソコンで通学路等地域の危険と思われる箇所を小学生自身が撮影し、その画像をデジタルマップに表示させ、再確認を行う防犯事業を実施しました。区ではこれまでも、平成26年9月に区立の全小中学校に一人一台のタブレットパソコンを配備して以来、各学校で電子黒板と連動させた事業を行うなど、ICT技術を活用して効果的な学習を進めてきました。

また、先日開催された幸せリーグの実務者会議では、住民の幸福度に基づいた行政運営を目指す基礎自治体が連携して、意見交換、情報交換等を行いました。会議で得られたものを基に、今後も区民の皆さまの幸福実感向上に取り組んでまいります。

引き続き、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

小学生が防犯授業で電子版安全安心マップを作成しました

7月19日、峡田小学校において警察署の署員を講師にした防犯授業を行い、その一環として、児童たちがタブレットパソコンを使った電子版安全安心マップの作成に取り組みました。

授業ではタブレットパソコンを使って、通学路等地域の危険と思われる場所を小学生自身が警察の方と一緒にまわって撮影し、その画像をデジタルマップに表示させ再確認をしました。



危険と思われる場所を
タブレットパソコンで撮影

これまで、区では警察署員のアドバイスを受けながら安全安心マップを各校で作成していましたが、模造紙等を使用していたため、他校との情報共有や情報更新において制約がありました。今回電子版を作成することで、こうした課題が改善され、より良いものになっていくことが期待できます。

今後とも、タブレットパソコンをはじめとしたICT技術を活用して、効果的な学習を進めてまいります。

ゆいの森 あらかわ・吉村昭記念文学館開館イベントを開催しました

7月16日、サンパール荒川大ホールにおいて、「ゆいの森あらかわ・吉村昭記念文学館」の開館イベントとして、講演会を開催しました。

当日は御令室である津村節子氏の御挨拶、親交が深かった作家・瀬戸内寂聴氏からのビデオレターの後、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏に、政治記者としての視点から、「吉村昭の取材力」と題した御講演をいただきました。当日は500名を超える皆様に御来場をいただき、没後10年も続く吉村氏の人気や、本施設の開館への期待の高さがうかがえました。

平成29年3月の開館に向けて、本施設がより多くの区民の皆様に利用され、親しまれ、区のシンボリックな施設となるよう、しっかりと準備を進めてまいります。

幸せリーグの第9回実務者会議を開催しました

7月8日、日暮里サニーホールで幸せリーグの第9回実務者会議を開催し、61自治体72人の職員が参加しました。

当日は、幸せリーグの顧問である京都大学こころの未来研究センターの広井良典教授より「人口減少社会を希望に - 幸福度指標とこれからの日本社会 - 」というテーマでご講演いただいた後に、6つのグループに分かれて「地域間連携の在り方」、「少子高齢化対策」等のテーマでディスカッションを行いました。



全国の自治体職員と意見交換

志を同じくする基礎自治体が相互に学び合い、高め合うことを通じて、各自治体における行政サービスのレベルアップを図るとともに、基礎自治体同士がお互いの長所を活かしたプラスサムの関係を築いてまいります。

国内最大級のものづくり関連専門展「機械要素技術展」に出展しました

区は、6月に東京ビックサイトで開催された国内最大級のものづくり関連専門展「機械要素技術展」に区内事業者と共同出展しました。これは、区内製造業の有する高い技術力を国内外の企業に広く周知し、区内製造業における企業間取引の販路拡大を図るものです。

会期中、荒川区ブースに訪れた約2,000人の方に、高い技術力を持つ区内企業の技術や製品を披露し、革新的な産業が集積する「モノづくりの街・あらかわ」の魅力を広くPRしました。

今後も、区内事業者の経営力を強化するため、持続的発展につながる、切れ目のない産業振興策を実施してまいります。



出展事業者のみなさまとともに



技術革新をアピールした展示ブース

「日本健康会議」2016に実行委員として出席しました

7月25日、塩崎厚生労働大臣、加藤一億総活躍担当大臣とともに「日本健康会議」に出席しました。

当日は、「健康なまち・職場づくり宣言2020」の2016年度の達成状況の報告や横浜市のよこはまウォーキングポイント、埼玉県の糖尿病重症化予防等の取組事例の説明等がありました。



実行委員のみなさまとともに

すべての区民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていくためには、健康が最も大切であり、区民一人ひとりの健康は、地域力の向上、ひいては荒川区全体の活性化につながってまいります。区では、今後も「生涯健康都市あらかわ」の実現を目指してまいります。